

くらし 医療・健康

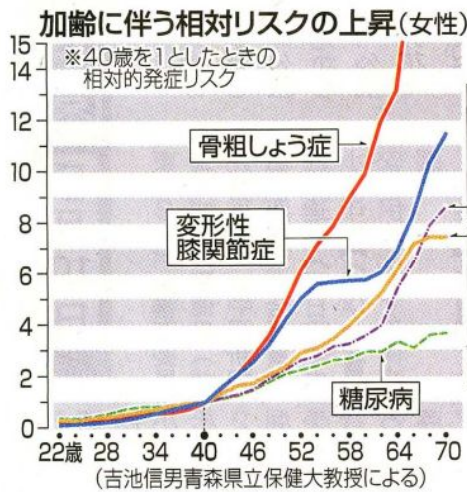
5 疾病 加齢リスク算出

加齢でどのくらい健康にリスクが生じるものなのか。青森県立保健大健康科学部の吉池信男教授は、最近電子化が進んだレセプトの膨大なデータを利用し、疾病ごとの年齢リスクを算出した。

レセプトは、患者が受けた診療について、医療機関が健保組合などに請求する医療費の明細書。

吉池教授は、2010年12月から1年間に

脳血管疾患 62歳から急上昇



医療機関を受診した100万人のレセプトデータから20〜74歳の計約72万4千人を抽出。脳血管疾患、糖尿病、虚血性心疾患、骨粗し

青森県立保健大の吉池教授 レセプトで分析

よう症、変形性膝関節症で、新規に受診した人を対象に分析した。年齢とともに、どうリスクが上昇するか、生のデータを基に相対リスクで表した。40歳の発症率を1とし、発症率の上昇をグラフで見た。

脳血管疾患では男性は62歳で約5.5倍、そこから急上昇し70歳で14倍に。女性では62歳で4倍、ここから急上昇し68歳では7倍になった。

糖尿病は男性で40歳を境にきつい傾きに変わり、女性と比べ、ゆるい傾きだった。

変形性膝関節症は64歳から再び急激に上昇。女性も40歳でカーブがきつくなり、60歳で2.5倍に。変形性膝関節症は男性で52歳で3倍強、62歳から急上昇。女性は40歳で急な傾きとなり、62歳で急上昇し68歳で10倍に。

骨粗しょう症は女性で40歳から傾きがきつくなり、60歳で10倍に、さらに62歳を過ぎると急上昇、68歳では25倍になった。男性は40歳で傾きがきつくなるが、女性と比べ、ゆるい傾きだった。